

令和5年度 林業普及週間現地情報(1/21～1/27)

森林管理課

森林施業に係る環境調査研修

1月25日(木)

令和6年1月25日から26日にかけて、国頭村有林内において実施された森林施業に係る環境調査研修を受講した。

この研修は、森林施業現場において森林所有者及び林業従事者が行う簡易な環境調査に関する知識や技術の習得を目的とした研修であり、今回は12名が参加した。

研修工程は25日の昼間と夜間、26日朝の3部構成で、座学と現場実習を行った。

座学では、専門的な知識や高度な技術を特に要さない調査方法として、①ICレコーダー（音声録音調査）、②コールバック法、③センサーカメラ調査、④バットディテクター（コウモリ類調査）の4つの手法を学んだ。

現地実習では、機器を使用した生き物の調査（コールバック法、コウモリ類調査）の実践、発見した生き物とその生息・生育環境の特徴について説明を受けた。また、センサーカメラの設置（25日昼間）から、回収観察（26日朝）の一連の実践と結果の振り返りを行った。

今回の研修を受講したことで、調査機器の基本的な取り扱いや、調査目的に応じた留意事項をひとつおろり学ぶことができた。

本県、特に本島北部の森林については、環境保全と利用の両立が求められていることから、今後は収穫伐採や森林整備等の現場において、簡易調査の導入やモニタリングが可能となるよう、当該研修で学んだ調査手法を林業従事者や行政職員（林業担当）に普及していきたい。



写真1：座学（調査方法）



写真2：座学（調査機器説明）



写真3：現地実習（生息環境）



写真4：調査機器設置



写真5：夜間調査（オキナワヤモリ）



写真6：夜間調査（ヒメハブ）

（報告者：森林管理課 大城、桑江、石垣）